

# いしのまき

北上白浜 地引網体験



## 渡波・北上白浜・網地白浜 3海水浴場 完全復活

東日本大震災後、閉鎖されていた渡波海水浴場が7月21日、8年ぶりに再開しました。平成25年に復活した網地白浜、同じ年から期間限定で開設していた北上白浜も完全復活し、今夏は3海水浴場が海開きを迎えました。北上白浜では子どもたちに人気の地引網の体験も始まりました。猛暑の今夏、浜辺には復活を待ち望んでいた大勢の海水浴客の歓声が響き渡りました。



石巻市イメージキャラクター

### 主な内容

- P1 …… 海水浴場復活
- P2・3 …… 各地区拠点エリア整備
- P4~6 …… かわまち施設と周辺整備
- P7 …… 防災センター
- P8 …… 災害への備え

北上白浜海水浴場



渡波海水浴場



網地白浜海水浴場



## 河北地区二子団地防災集団移転促進事業



平成29年度に市内で最大規模の河北地区二子団地の全工区の整備が完了し、市内46地区65団地全ての防災集団移転事業の宅地供給が完了しました。

また、今年7月には第3工区に建設した「二子復興住宅」の鍵の引き渡しが行われ、半島沿岸部全ての復興公営住宅573戸が完成しました。

## 雄勝中心部地区 拠点エリア整備事業



雄勝地域の中心部だった伊勢畑に、住宅地、総合支所など公共施設、商業施設、観光施設、運動施設が一体となったまちの中心を再生します。



※完成イメージ図は変更となる場合があります。

## 北上中心部地区 拠点エリア整備事業



完成イメージ(平成31年度完成予定)

### 北上小学校外観イメージ



※完成イメージ図は変更となる場合があります。



北上中心部地区(平成30年3月時点)

にっこりサンパークとその周辺に、住宅地、総合支所など公共施設、学校などを集約するとともに、既存施設を一部利活用し、まちの中心を創出します。

## 鮎川浜地区 拠点エリア整備事業



完成イメージ(主な観光施設は平成31年度完成予定)

※完成イメージ図は変更となる場合があります。



鮎川浜地区(平成30年7月時点)

### おしかホエールランド内観イメージ

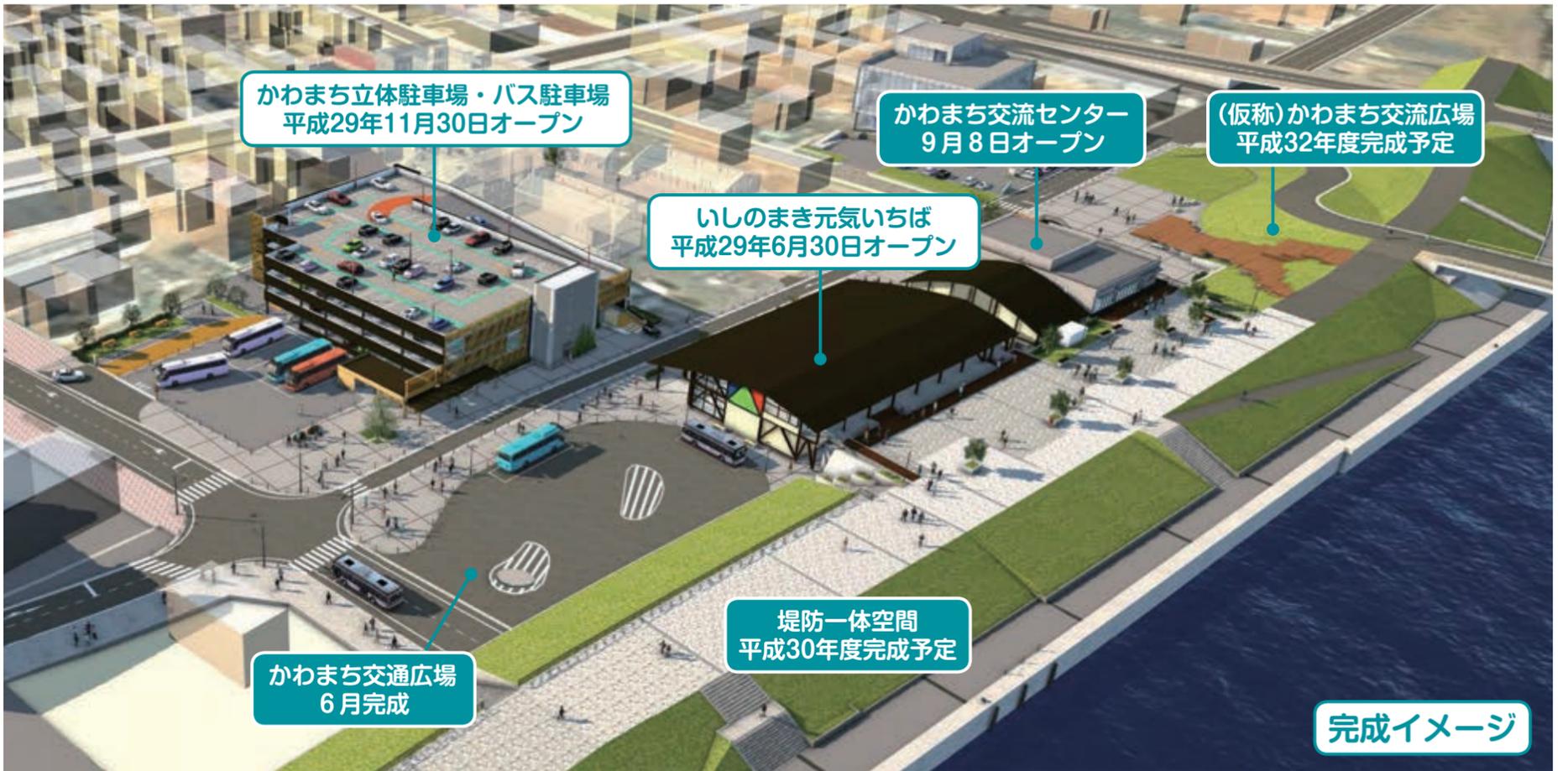


### 観光物産交流施設内観イメージ



おしかホエールランドを復旧、地域観光拠点を再生するとともに、商業施設などの用地を整備し、鮎川浜のにぎわいを再生します。

# かわまち交流拠点整備事業



## かわまち交流センター (愛称:かわべい)



かわまち交流センターは、ミーティングスペースや市民交流ホール、キッチンスペースを配置し、石巻の観光や食など幅広い情報を発信し、市民の皆さんや観光客の皆さんが気軽に交流できる観光の拠点施設です。



利用時間	午前9時～午後9時	
休業日	年末年始(12/29～1/3)	
利用料金	区分	利用料
	ミーティングスペース	1時間当たり200円
	キッチンスペース	1時間当たり400円
	市民交流ホール	1時間当たり800円

## 堤防一体空間

堤防一体空間は、全長約300m、幅約10～17mの規模で整備しており、川に近い存在に感じられる広場としての日常的利用のほか、施設2階との連結やその立地を生かし、屋外イベントや川開き祭り花火大会時の観覧場所、オープンカフェテラスなどの利用が期待される空間です。



※完成イメージ図は変更となる場合があります。

# 石巻の「かわ」と「まち」をつなぐ水辺空間

東日本大震災で甚大な被害を受けた石巻市は、古くから川湊<sup>かわみなと</sup>として、旧北上川を中心に栄えてきました。

市街地を津波・高潮・洪水の被害から守り、地域の歴史や文化などを踏まえた景観を形成するため、市と国土交通省北上川下流河川事務所は、「旧北上川河口まちづくり」として、旧北上川の堤防整備と併せて、市民の皆さんの集いの場、憩いの場となる水辺空間の整備を連携して進めています。

(平成32年度整備完了予定)

## 憩い

### 川口・湊地区

#### 散歩や憩いの拠点となる気持ちの良い空間

防災緑地(二線堤)と河川堤防がぶつかる広いスペースを利用した、川や日和山への見晴らしが良い広場。木漏れ日が気持ちの良い緩やかな斜面の空間、その他並木や駐車場、親水空間などを配置した公園的な空間です。



仲間と木陰で談笑したり、くつろいだり

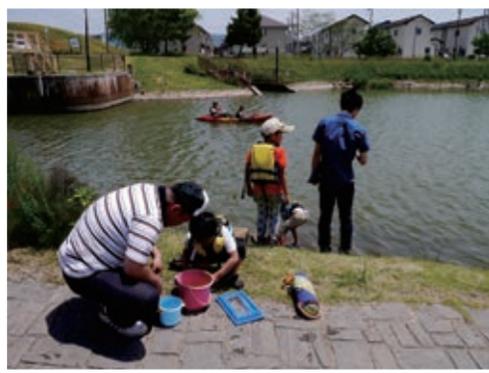


## 学び・遊び

### 住吉小学校周辺

#### 子供たちが自然環境に触れ・学び・遊べる場

水際に干潟をつくり、環境学習やさまざまな活動・遊びなどが行えるようにします。



カニとり



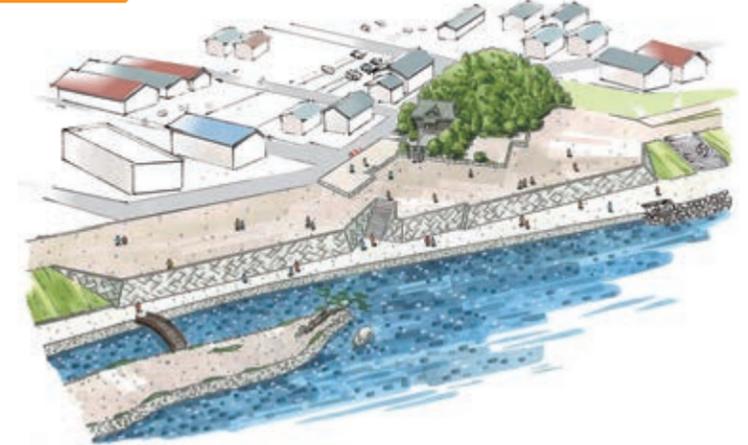
環境学習

## 歴史

### 住吉公園・大島神社周辺

#### 神社、雄島・太鼓橋などとの関係を考慮した川側に開けた神社・公園空間

歴史的な神社の前の空間であり、歴史・文化を伝承する場として、石積みやかかわどなど地域の歴史をしのばせる整備を行います。



大島神社



どんと祭

## 集い

### 不動・八幡地区

#### 袖の渡しをしのばせるとともに、イベント利用にも考慮した親水テラス

灯籠流し・孫兵衛船競漕などのイベント時には観覧場として利用できるよう整備します。また、八幡町地区については、対岸を含めて「袖の渡し」のイメージをしのばせる場所として、対岸の大島神社と合わせて渡し場のイメージを演出した空間です。



夏に開催される川開き祭りの中の孫兵衛船競漕や、灯籠流しの観覧に。



# 旧北上川の堤防や橋の整備状況

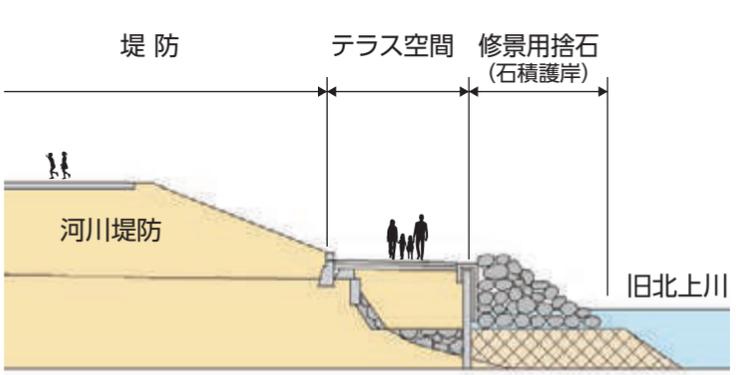


洪水、津波、高潮から市街地を守る目的で旧北上川の河口から曾波神大橋までの間の堤防整備を進めています。

堤防整備では、テラスや石積護岸を合わせて整備し、にぎわいと安らぎの水辺空間を新たに創出します。

旧北上川沿岸には市街地を一望できる日和山公園、石巻の地名の由来となった巻石、今年の川開きまつりで大勢の方でにぎわった中央地区かわまち交流拠点や、河口部に整備が進められている石巻南浜津波復興祈念公園など見どころがたくさんあり、堤防とテラス空間を整備することにより石巻を育んだ旧北上川の水面を身近に感じながらの散策ができます。

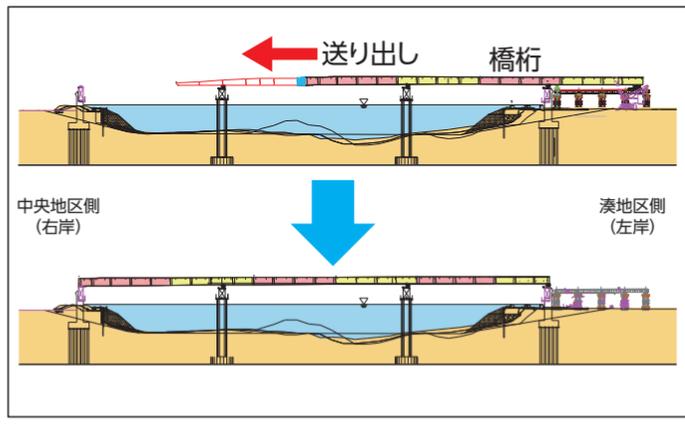
## テラス空間整備イメージ



## ⑦ (仮称)新内海橋



平成30年8月時点



送り出し工法イメージ図

中央地区と湊地区を直接結ぶ「(仮称)新内海橋」は、県が被災した内海橋の架け替えとして行っており、片側1車線の両側歩道で、現内海橋の上流に整備します。

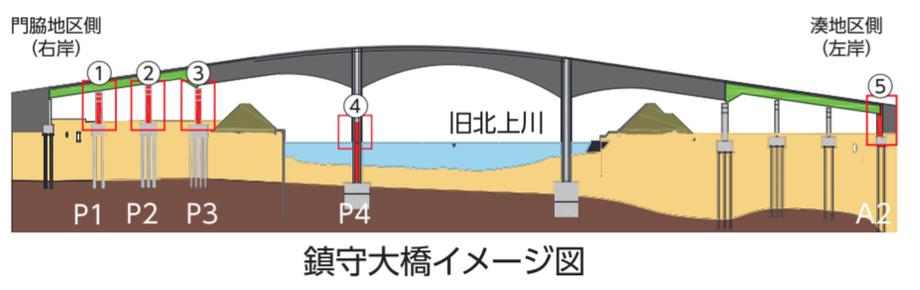
橋桁を架けるには橋桁を送り出して対岸に到達させる方法を採用し、5月に橋桁が中央地区側(右岸)に到達しました。

なお、中瀬には(仮称)新西内海橋と(仮称)新東内海橋を整備します。

## ⑧ (仮称)鎮守大橋

「(仮称)鎮守大橋」は、日和大橋の約500m上流で門脇地区と湊地区をつなぎます。片側1車線で、上流側に3.5mの歩道を設置します。現在、8つの橋脚のうち、門脇地区側(右岸)の①～④の橋脚と湊地区側(左岸)の⑤の橋台が完成しています。

姿を見せ始めた橋脚(平成30年8月時点)



鎮守大橋イメージ図

# 防災・復興拠点 石巻市防災センターが完成



**石巻市防災センターの概要**  
 RC造3階建(中間免震構造)  
 敷地面積：1251.54㎡  
 延べ面積：1791.06㎡  
 建築面積：768.36㎡



東日本大震災の教訓を踏まえ、大規模災害における災害対策本部の体制整備強化を図るため、市庁舎および各防災関係機関と連携し、迅速な防災対策を行う機能を有した防災拠点施設「石巻市防災センター」が5月31日に開所しました。

防災センターは、高さ約16m、1階と2階の間に免震装置を設置した中間免震構造の鉄筋3階建てで、大規模地震にも耐えられるよう設計された建物です。



**1階 資機材庫**  
1階の資機材庫は床が周囲より1.5m高く、ボートや救命胴衣などを保管しています。



**2階 会議室**  
2階の会議室は市民や自主防災組織などの研修やワークショップの場として、多目的ホールは、震災アーカイブの展示や防災セミナーなどの会場として活用できます。



**2階 多目的ホール**  
(災害時：災害復旧支援活動部隊詰所)



**3階 シミュレーション室**  
(災害時：災害対策本部)



**3階 通信司令室**



**3階 市庁舎との連絡通路**

3階は、災害時に円滑に機能を果たすため、最新の情報通信技術を導入した災害対策本部室や通信司令室などが連動できるように配置しています。



# 災害に備えよう

## ～減災への第一歩～

地震や津波、集中豪雨など、自然災害はいつ起こるかわかりません。時として、想像を超える力で襲ってくる災害を未然に防ぐことはできませんが、被害を最小限に抑える「減災」は一人一人の心掛けで可能になります。いざという時のために、災害への備えに取り組みましょう。

### 非常用備蓄品・非常持ち出し品の準備をしよう

#### □非常用備蓄品

飲料水や食料などの備蓄品は、最低3日分、できれば1週間分を用意しましょう。

#### おすすめ ローリングストック(循環備蓄)

保存期間の長い防災食料だけでなく、レトルト食品などの日持ちの良い食品を少し多めに「買い置き」、日常生活の中で消費しながら減った分を「買い足す」方法です。

無駄なく、常に一定量の備蓄がある状態にすることができます。



#### □非常持ち出し品

備蓄品とは別に、避難をする際に必要最低限のものをすぐ持ち出せるよう袋に用意しておきましょう。

両手が使えるリュックサックが便利!



#### 持ち出し品の例

- 飲料水、食料品
- 貴重品(現金、保険証など)
- 薬(常備薬、服用中の薬)
- 生活用具(衣類、携帯トイレ、メガネ、生理用品など)



#### 赤ちゃんや高齢者のいる家庭はプラスα

- 粉ミルク
- 離乳食
- 紙おむつ(大人用・子供用)
- 介護用品 など

### 安否確認の方法を確認しておこう

災害時の安否確認の方法として、**災害伝言ダイヤル**があります。防災週間(8月30日～9月5日)と毎月1・15日は体験利用ができますので、あらかじめ使用方法を確認しましょう。

#### 災害伝言ダイヤルの使用方法



### 家の中の安全対策について考えよう

地震による負傷者の多くは、大きな家具の転倒や落下によるものです。家具は必ず倒れるものと考えて、対策を行いましょう。

#### 《対策例》

- ・家具の転倒防止金具の取り付け
- ・家具は倒れる向きや場所を考えて配置(寝室や子供部屋にはなるべく大きな家具を置かないなど)
- ・食器棚や窓などのガラスに飛散防止フィルムを貼る



### 避難先や避難ルートを確認しよう

#### 避難先や複数の避難ルートを家族で確認しよう

- 避難ルートを確認しよう
- 複数の避難ルートを検討しよう
- 家族の集合場所を決めよう



### 正確な情報を収集しよう

#### □災害情報テレホンサービス

防災行政無線の屋外スピーカーで放送した内容を電話で確認することができます。

緊急に コール  
☎ 0180-992-506

#### □防災ラジオ

市が防災行政無線で流す放送のうち、災害に関する重大な緊急情報について、自動起動により発信します。(危機対策課・各総合支所にて販売しています)



#### □災害情報メールサービス

防災行政無線の放送内容	本庁地区	is1-entry@	my.e-msg.jp へ空メールを送信して登録
+ その他災害情報 をお知らせします	河北地区	is2-entry@	
	雄勝地区	is3-entry@	
	河南地区	is4-entry@	
	桃生地区	is5-entry@	
	北上地区	is6-entry@	
	牡鹿地区	is7-entry@	



石巻市役所 〒986-8501 宮城県石巻市穀町14-1  
☎ 0225-95-1111 FAX 0225-22-4995  
開庁時間 午前8時30分～午後5時  
ホームページ <http://www.city.ishinomaki.lg.jp/>

次回発行は平成30年10月1日の予定です。

発行 石巻市総務部秘書広報課(内線4024) FAX 0225-23-4340  
編集/制作 三陸河北新報社

市のホームページを携帯やスマホでも見られます



※機種によってはアプリが必要な場合があります。  
※通信料金がかかります。  
☎ 秘書広報課(内線4024)

#### 電話番号案内

市役所 ☎95-1111	河北総合支所 ☎62-2111
雄勝総合支所 ☎57-2111	河南総合支所 ☎72-2111
桃生総合支所 ☎76-2111	北上総合支所 ☎67-2111
牡鹿総合支所 ☎45-2111	渡波支所 ☎24-0151
稲井支所 ☎95-2171	荻浜支所 ☎90-2111
蛇田支所 ☎95-1442	